

山本芳照議員



震災時、鍋田ふ頭のコンテナ流出防止策は

問

防災について聞く。

◀鍋田ふ頭のコンテナバース
(富浜地内)

- (1) 名古屋港管理組合に問い合わせたが、背後に向かって勾配を付け、伊勢湾台風襲来時の潮位（海面プラス5・31m）も、コンテナ

- 流出の可能性は極めて低いと考えられている。

- 地盤発生時の想定津波は海面プラス3.9mと予測され、岸壁の高さ（海面プラス4.8m）より低いレベルで、内陸への浸水被害の可能性は低いと考えられている。

ただしこの地域などもあり、消防団の積載車の保管場所は、全体的に堤防道路や比較的高い場所へ車両を移動させることになつていて、

- (3) 防災広場が完成した段階で検討する内容になると

- 思う。

- (4) 候補地の地主との交渉がまとまり次第、補正予算にて対応する。候補地の土地に関する調査を、実施している状況である。

答 総務部長

- (5) 想定外の災害のこともあり、今後は状況把握に努め、必要と思われる個所は設置するかどうか、水路管理者と協議を行つていただきたい。

答 開発部長



より一層の対策を願いたい

のか。

- (1) 鍋田ふ頭に留置されるコンテナの流出防止策を、どう考えているか。
- (2) 災害発生時、緊急車両が水没して使用できなくなる危惧をしている。
- (3) 消防団の消防車、海部南部消防組合の救急車、消防車等の駐車場をどう考えているか。
- (4) 防災広場に消防車の格納庫を設置していくことが必要ではないか。
- (5) 市は白島学区の防災広場について、どんな考え方を持っているのか。

- 各事業者は、災害が想定される場合はコンテナを縛る措置を行うが、より一層の対策を願みたいと思っている。

- (2) 消防団の積載車は浸水予想時、堤防等、標高の高い場所に移動できるよう、場所や移動方法を検討して

答 防災安全課長

いきたい。

海部南部消防組合の車両は大津波が想定される場合、

堤防道路や比較的高い場所へ車両を移動させることになつていて、

大掃除のときの対応は、各地域ではじごを準備する

ようにお願いしたい。